

北本市子ども・子育て支援ニーズ調査

〔就学前こども用〕

【調査ご協力のお願い】

日頃から市政の運営に多大なご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

北本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年度より5年間の計画期間である「北本市子ども・子育て支援事業計画」により子育て支援サービスの充実を図ってまいりました。

この度、2020年度からの次期計画を策定するために、子育て支援のための施設やサービスの利用等についてお聞かせいただくことを目的としてニーズ調査を実施することになりました。就学前のお子さんがある世帯のうち、無作為に抽出した1000世帯の保護者の皆様にご協力をお願いいたしております。

回答内容は、今回の計画策定のみを利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

3歳から5歳までの子どもを主に対象として、2019年10月からの幼稚園、保育所等における利用料の無償化が、国により目指されるなど、皆様からのニーズを踏まえての検討の重要性が高まっております。ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、期日までにご回答をいただけますようお願いいたします。

平成30年12月

北本市長 現王園 孝昭

【ご記入にあたっての注意】

1. **宛名のお子さんについて保護者等の方がご記入ください。**
2. ご回答は、選択肢に○印をつける場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので質問に従って回答ください。
また、「その他」を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時⇒18時）で、また、数字は一枠に一字でご記入ください。
5. **同封の返信用封筒により、1月7日（月）までにご投函ください。**
6. ご不明な点につきましては、下記までお願いいたします。

《お問い合わせ先》北本市 こども課 保育担当 電話：048-594-5538（直通）

※市のホームページにおいて、次の情報をご確認いただけます。

現行子ども・子育て支援事業計画
前回ニーズ調査結果



幼稚園、保育所等の
利用料無償化



お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 北本中学校区 | 2. 東中学校区 | 3. 西中学校区 | 4. 宮内中学校区 |
|-----------|----------|----------|-----------|

【参考】中学校の通学区域一覧

中学校	通学区域
北本中学校区	・南小学校の学区（本宿1・7・8丁目 緑1～4丁目 下石戸1・5～7丁目 大字下石戸下 大字下石戸上 大字北本宿） ・西小学校の学区（本町1～8丁目 中央1～4丁目 西高尾1～8丁目 高尾1・2（西19に限る）・3（西19に限る）丁目）
東中学校区	・中丸小学校の学区（本宿2～4丁目 宮内7丁目 朝日1丁目 古市場2・3丁目 山中1・2丁目） ・東小学校の学区（中丸1・2・4～8丁目 ニツ家1～4丁目） ・中丸東小学校の学区（朝日2～4丁目 北中丸1・2丁目 本宿5・6丁目 中丸3・9・10丁目 朝日2丁目238番地を除く）
西中学校区	・石戸小学校の学区（石戸宿1～8丁目 石戸1～9丁目 高尾2（西19を除く）・3（西19を除く）、4～9丁目 荒井1～6丁目） ・栄小学校の学区（栄7番地（住宅・都市整備公団北本団地） 石戸7丁目46番地（グリーンハイツ北本））
宮内中学校区	・中丸小学校の学区（北本1～4丁目 東間1・2丁目 宮内1・2・4～6丁目 古市場1丁目） ・北小学校の学区（東間3～8丁目 深井1～8丁目 宮内3丁目） ・中丸東小学校の学区（朝日2丁目238番地）

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月日は、次のうちのどれに該当しますか。（1つに○）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 平成29年4月2日～平成30年4月1日 | 4. 平成26年4月2日～平成27年4月1日 |
| 2. 平成28年4月2日～平成29年4月1日 | 5. 平成25年4月2日～平成26年4月1日 |
| 3. 平成27年4月2日～平成28年4月1日 | 6. 平成24年4月2日～平成25年4月1日 |

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他（ ） |
|-------|-------|--------------------------------|

問4 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

当てはまる番号1つに○をつけてください。（問3で「3. その他」と回答した方は回答不要です）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者がいない |
|-----------|------------|

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|--------------------------------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他（ ） | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|-----------|--------------------------------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 |
| 6. 保育所 | 7. 認定こども園 | 8. その他（ ） | | |

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問8 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 病気や発育・発達に関すること | 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと | 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと | 6. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと | 8. 子どもの教育に関すること |
| 9. 友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること | 10. 登園拒否、不登校に関すること |
| 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと | |
| 12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと | |
| 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になること | |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人が少ないこと | |
| 15. 子どもを叱りすぎているような気がする | |
| 16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手を上げたり、世話をしなかつたりしてしまうこと | |
| 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと | |
| 18. 子育てにかかる経済的負担が大きいこと | |
| 19. その他（ ） | |
| 20. 特にない | |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ 問9-1へ 2. いない／ない ⇒ 問10へ

問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 7. 幼稚園 |
| 2. 友人や知人 | 8. 民生委員・児童委員 |
| 3. 近所の人 | 9. かかりつけの医師 |
| 4. 児童館・子育て支援施設・NPO | 10. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 5. 保健所・保健センター | 11. その他（ ） |
| 6. 保育所・認定こども園 | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業など含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | ⇒（1）-1へ |
| 2. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない | ⇒（2）へ |
| 6. これまで就労したことがない | |

（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

（1）-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1週当たり： □ □ 日 1日当たり： □ □ 時間

（1）-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず（例）08時～18時のように、24時間制でお答えください。
（□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時間： □ □ 時 帰宅時間： □ □ 時

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	⇒ (2) -1 へ
--	------------

(2) で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

(2) -1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

1 週当たり： 日	1 日当たり： 時間
--------------------------------	--

(2) -2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況

についてお答えください。時刻は、必ず（例）08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）

家を出る時間： 時	帰宅時間： 時
---	---

問 10 の (1) または (2) で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問 11 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

	母親	父親
1. フルタイム（週5日・1日8時間程度）への転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問10の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問12 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一桁に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
	→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
→希望する就労形態	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
	→1週当たり 日 1日当たり 時間

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の
利用状況についてうかがいます。**

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育所など、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	⇒ 問13-1へ	2. 利用していない	⇒ 問13-5へ
-----------	----------	------------	----------

問 13-1～4 は、問 13 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） 【ふじ幼稚園、いしと幼稚園、北本みなみ幼稚園、森の詩幼稚園、北本東幼稚園、北本中央幼稚園】 2. 幼稚園の預かり保育 （1 の通常の就園に加え、通常の就園時間を延長して預かる事業のうち〔定期的な利用の場合〕） 3. 認可保育所 （都道府県等の認可を受けたもの） 【高尾保育園、中丸保育園、スマイル保育園、みなみの森保育園、緑の詩保育園、中央保育所、東保育所、栄保育所、深井保育所】 4. 認定こども園 （幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設） 【きたもと幼稚園、せきね幼稚園、みなみ絵本のこども園】 5. 小規模な保育施設 （国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6～19人のもの） 【埼玉ヤクルト保育園北本もぐもぐ保育ルーム】	6. 家庭保育室 （保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業） 7. 事業所内保育施設 （企業が主に従業員用に運営する施設） 8. 家庭保育室・ナーサリールーム （市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設） 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育 （ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭を訪問し保育する事業） 11. ファミリー・サポート・センター （保育所や習い事等への送迎や、保育所や学童保育終了後に一時的に地域住民が子どもを預かる事業） 12. その他（ ）
---	---

問 13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。□内に具体的な数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）
時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

（1）現在

1 週当たり： □ □ 日	1 日当たり： □ □ 時間	（ □ □ 時～ □ □ 時）
---------------	----------------	-----------------

（2）希望

1 週当たり： □ □ 日	1 日当たり： □ □ 時間	（ □ □ 時～ □ □ 時）
---------------	----------------	-----------------

問 13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. 北本市内	2. 他の市町村（ ）
---------	-------------

問 13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労しているため
3. 子育てをしている方が就労予定がある／求職中であるため
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている方に病気や障害があるため
6. 子育てをしている方が学生であるため
7. その他（

）

問 13 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-5 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないため等）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（

）

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、所得・年齢等に応じた利用料が設定されています。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用) 〔平均利用料(月額): 26,000円程度〕 ※所得に応じた利用料補助あり 2. 幼稚園の預かり保育 (1の通常の就園に加え、就園時間を延長して預かる事業〔定期的な利用の場合〕) 3. 認可保育所 (都道府県等の認可を受けた保育所(定員20人以上)) 〔利用料(月額): 0円~54,500円〕 ※所得等に応じた利用料設定 <table> <tr> <td>0歳から2歳</td><td>0円~54,500円</td></tr> <tr> <td>3歳</td><td>0円~25,000円</td></tr> <tr> <td>4、5歳</td><td>0円~21,000円</td></tr> </table> 4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) 〔利用料: 1日4時間程度利用…幼稚園と同様 1日8時間程度利用…保育所と同様〕 5. 小規模な保育施設 (市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)〔利用料は認可保育所と同様〕	0歳から2歳	0円~54,500円	3歳	0円~25,000円	4、5歳	0円~21,000円	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕 7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) ※現在お勤めの企業が設置していない場合でも、利用希望があれば○をつけて下さい 8. 家庭保育室・ナーサリールーム (市町村の指定・認定を受けた認可外保育施設) 9. その他の認可外の保育施設 10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) 〔利用料は認可保育所と同様〕 11. ファミリー・サポート・センター (保育所や習い事への送迎や、保育所や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業) 〔平均利用料(1時間): 700~800円程度〕 12. その他()
0歳から2歳	0円~54,500円						
3歳	0円~25,000円						
4、5歳	0円~21,000円						

1. 北本市内	2. 他の市町村（ ）
---------	-------------

1. はい	2. いいえ
-------	--------

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問 15 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「児童館」「北本駅子育て支援センター」「北本市子育て支援センター」「Coccoひろば」「中丸保育園子育て支援センター」）等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 地域子育て支援拠点事業〈親子が集まって過ごしたり、相談をする場〉	
1 週当たり： 回	もしくは 1 ヶ月当たり： 回 程度
2. その他当該自治体で実施している類似の事業（具体名： ）	
1 週当たり： 回	もしくは 1 ヶ月当たり： 回 程度
3. 利用していない	

問 16 問 15 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい	
1 週当たり： 回	もしくは 1 ヶ月当たり： 回 程度
2. すでに利用しているが利用日数を増やしたい	
1 週当たり更に 回	もしくは 1 ヶ月当たり更に 回 程度
3. 新たに利用したい、または利用日数を増やしたいとは思わない	

問 17 北本市で実施している下記の事業についてうかがいます。

認知状況、利用経験、利用希望ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	認知状況		利用経験		利用希望	
	知っている		現在利用している ・利用したことがある		今後利用したい	
①母親（父親）学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②母子健康センター、保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③子育て支援拠点（子育て支援センター）の相談・講習会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④自治体発行の子育て支援情報誌（子育て応援ガイドブック）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤つどいの広場（しゃべり場・サロン）事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥子育てに関する（当該自治体主催）講習会	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な 教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

（１）土曜日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に 1～2 回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	---

（２）日曜日・祝日

1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に 1～2 回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
---	-----	---

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 19 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 利用する必要はない 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3. 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□時から □□時まで
--	-----	---

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 13 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらない方は、問 21 にお進みください。

問 20 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 20-1 へ 2. なかった ⇒ 問 21 へ

問 20-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）

1 年間の対処方法	日 数	
ア. 父親が休んだ	□ □ 日	⇒問 20-2 へ
イ. 母親が休んだ	□ □ 日	
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□ □ 日	⇒問 21 へ
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □ 日	
オ. 病児・病後児保育施設等を利用した	□ □ 日	
カ. ベビーシッターを利用した	□ □ 日	
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □ 日	
ク. その他（ ）	□ □ 日	

問 20-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 20-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つ に○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料が必要となります。〔利用料：1 日あたり 2, 0 0 0 円程度〕

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □ □ 日 ⇒ 問 20-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 20-4 へ

問 20-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 21 へ

問 20-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。

問 20-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|-----------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 4. 利用料がかかる・高い |
| 2. 地域の事業の質に不安がある | 5. 利用料がわからない |
| 3. 地域の事業の利便性がよくない
(立地や利用可能時間・日数など) | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| | 7. その他 () |

⇒ 問 21 へ

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を 伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □	日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □	日
3. ファミリー・サポート・センター (保育所や習い事等への送迎や、保育所や学童保育終了後に一時的に子どもを預かる事業)	□ □	日
4. ベビーシッター	□ □	日
5. その他 ()	□ □	日
6. 利用していない ⇒問 21-2 へ		

⇒問 21-1 へ

⇒問 22 へ

問 21 で「1. 一時預かり」と回答した方にうかがいます。

問 21-1 一時預かりで、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

(□ □ 時 ~ □ □ 時)

問 21 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 21-2 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 5. 利用料がかかる・高い |
| 2. 利用したい事業が地域にない | 6. 利用料がわからない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない |
| 4. 地域の事業の利便性がよくない
(立地や利用可能時間・日数など) | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| | 9. その他 () |

必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字で記入ください。数字は一枠に一字）

1. 利用したい		計 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他（ ）		日
2. 利用する必要はない		

3 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号と記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1年間の対処方法		日 数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	泊
	イ. 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	泊
	ウ. イ以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	泊
	エ. 子どもを同行させた	泊
	オ. 子どもだけで留守番をさせた	泊
	カ. その他 ()	泊
2. なかった		

⇒問 23-1 へ

問 23 で「1. あった」「ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒「ア」以外を選択した方は問 24 へ

問 23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。⇒ 5歳未満の方は、問 26 へ**

問 24 お子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数や時間について □ 内に数字をご記入ください。）

希望する場所 【複数選択可】	週当たりの希望日数 【数字を記入】	
	1～3年生までの間	4～6年生までの間
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事（スポーツ、塾など）	週 日くらい	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後子ども教室※1	週 日くらい	週 日くらい
6. 学童保育室※2	週 日くらい ➡ 下校時から 時まで	週 日くらい ➡ 下校時から 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい	週 日くらい

※1：「放課後子ども教室」… 地域の方々の協力を得て、放課後等小学校で学習、スポーツ、文化活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無にかかわらず利用できます。午後4時50分まで運営。

※2：「学童保育室」… 保護者が就労により昼間家庭にいない場合などに、指導員がついて、子どもの生活の場を提供するものです。午後7時まで運営。

〔利用料（所得により異なります）低学年（1～3年生）0～1万円 高学年（4～6年生）0～8,000円〕

問 24 で「6」に○をつけた方にうかがいます。

問 25 土曜日、日曜・祝日、長期の休み（春・夏・冬休み）について、それぞれの期間における学童保育室の利用希望と利用したい時間帯をお答えください。（午前7時から午後7時まで運営）

	利用希望の有無 【1つ選択】	利用希望時間 【数字を記入】
土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 時から 時まで
日曜・祝日	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 時から 時まで
長期の休み （春・夏・冬休み）	1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	利用したい時間帯 時から 時まで

すべての方に、職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 26 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

	母 親	父 親
1. 働いていなかった	1	1
2. 取得した（取得中である）	2	2
3. 取得していない	3	3

問 26 で「3」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 育児休業を取得していない理由は何ですか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 すべて に○をつけてください。

	母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	3
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
7. 保育所（園）などに預けることができた	7	7
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
10. 子育てや家事に専念するため退職した	10	10
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	11
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	14	14
15. その他（ ）	15	15

問 26-2 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 2 歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 26 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。 ⇒ 該当しない方は、問 27 へ

問 26-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	母 親	父 親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
2. 現在も育児休業中である	2	2
3. 育児休業中に離職した	3	3

問 26-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 26-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。

あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1 月～2 月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

母 親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
父 親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった

すべての方に、うかがいます。

問 27 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い				満足度が高い
1	2	3	4	5

問 28 自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。

それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. その他（具体的に： _____）
5. わからない

問 29 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。
 主なものを3つまで○をつけてください。

1. 親族	8. テレビ、ラジオ、新聞
2. 隣近所の人、知人、友人	9. 子育て雑誌
3. 子育て支援センター・サロン等の仲間	10. インターネット（市以外のHP）
4. 保育所、認定こども園、幼稚園、学校	11. コミュニティー誌
5. インターネット（市のHP）	12. その他（ ）
6. 市の広報やパンフレット	13. 情報の入手先がわからない
7. 市役所や市の機関（広報や市のHPを除く）	14. 情報の入手方法がわからない

問 30 下記の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。
 はい・いいえのどちらか1つに○をつけてください。

	母 親 参加している	父 親 参加している
①保護者会・PTA	はい・いいえ	はい・いいえ
②地域のボランティア活動	はい・いいえ	はい・いいえ
③自治会活動	はい・いいえ	はい・いいえ
④地域で活動するサークル	はい・いいえ	はい・いいえ

問 31 お子さんの食生活で、普段、あなたが気をつけていることはどんなことですか。
 （ア～ケのそれぞれについて、1から3までのあてはまるもの1つに○印）

ア 食事時間はほぼ決まっている	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
イ うす味の食事を心がけている	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
ウ 朝食（起きて活動する前の食事）をきちんと食べる	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
エ 親子で楽しみながら食べる	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
オ 間食の時間と量を決めている	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
カ 栄養のバランスやエネルギーを考えて食事をする	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
キ 毎食、野菜料理を食べる	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
ク 毎日、緑黄色野菜を食べる	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない
ケ よくかんで食べる	1. いつも	2. ときどき	3. ほとんどない

1. 小児救急医療体制の充実
2. 保育所・学童保育室などの整備
3. 児童館・子育て支援センターなどの整備
4. 子育てについて学ぶ機会の促進
5. 男女が共に子育てに関わるための意識啓発
6. 保育所や認定こども園、幼稚園等の費用や教育費の負担軽減
7. 出産や医療に係る費用の負担軽減
8. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
9. 発達などに関する専門相談体制の整備
10. 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備
11. 子どもの創造性や感性をのばす教育機会の普及
12. いじめや差別をなくす教育の推進
13. 出産や妊娠に関する学習機会の促進
14. 親子が安心して集まって交流できる場などの整備
15. ファミリー・サポート・センターの会員確保
16. 特別支援が必要な子どもへの事業推進
17. 交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取組の推進
18. お祭りや子ども向けイベントなどの充実
19. その他（

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is a solid vertical line on the left side, creating a margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

19